

共同シンポジウム 次第

テーマ 水辺の自然再生 ゆたかな自然を次世代へ
開催期日 2013年11月16日（土）
会場 宮城県大崎合同庁舎（宮城県大崎市古川旭4丁目）
主催 NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、3.11北上地域農業復興会議
ナマズのがっこう

趣旨説明 高橋清孝（水辺の自然再生シンポジウム実行委員長）

第1部 10:00～12:00 座長 佐藤弘樹（シナイモツゴ郷の会）

ゆたかな自然を子どもたちへ

① 地域の宝シナイモツゴとゼニタナゴを守るために

- ・二宮景喜（シナイモツゴ郷の会） 地域ぐるみの取り組みの必要性と体制づくり分
- ・那須孝（鹿島台第二小学校） 本校の里親活動について

② 地域から全体へ

- ・吉田千代志（シナイモツゴ郷の米つくり手の会） 一般市民との交流をめざして

③ リレートーク

- ・里親インストラクターの里親支援活動（佐藤豪一：シナイモツゴ郷の会）
- ・里親小学校の生徒（鹿島台小飼育委員会、鹿島台第二小4年生）
- ・市民（イベント参加者父兄など）
- ・農業者（西澤誠弘：伸萌ふゆみずたんぼ生産組合）

④ 自由討論

リレートーク講師へのインタビュー中心

第2部 13:00～17:30

侵略的外来動物を防除してゆたかな自然を未来へ

進行 坂本啓（シナイモツゴ郷の会）

① 特定外来動物の影響と対策

- ・西原 昇吾（東京大学大学院農業生命科学研究科）
外来水生動物の対策と在来動物の保全
- ・小林 光（全国ブラックバス防除市民ネットワーク）市民団体からの提言

② 注目の防除技術と体制づくり

- ・徳永 修治（新和技術コンサルタント）
鹿児島県藺牟田（いむた）池で開発したブルーギル駆除方法
- ・片岡 友美（生態工房）
外来両生類と爬虫類（ウシガエル、カメ類など）の駆除技術
- ・高田 昌彦（琵琶湖を戻す会）
市民と漁業者の連携による琵琶湖の外来魚防除体制づくり
- ・高橋 清孝（シナイモツゴ郷の会）
オオクチバスの繁殖生態と人工産卵床の改良

③ リレートーク

- ・池田 実（東北大学大学院）
身近な水辺に侵入する外来エビの実態
- ・天野 隆雄（三ツ池水辺クラブ）
市民による外来種の防除
- ・三塚 牧夫（ナマズのがっこう）
池干しによるオオクチバス完全駆除
- ・藤本 泰文（宮城伊豆沼・内沼環境財団）
オオクチバスの低密度管理技術
- ・芦沢 淳（宮城伊豆沼・内沼環境財団）
ブルーギルの生態を利用した駆除技術
- ・半沢 裕子（手賀沼生物研究会）
広げよう「にぎやかな水辺づくり」活動

④ 総合討論 16:30～17:30 座長 小林 光（ノーバスネット）

*終了後、情報交換会（ホテルセントラルパーク 18:30～20:30、会費4,000円）を開催します。